

## 次世代ホープ賞 インタビュー

平成30年度久留米市優良施工表彰式では、優良施工表彰（事業者）に加え、若手技術者を対象とした『次世代ホープ賞』の表彰をしました。近年ベテラン技術者の退職、若手技術者の雇用難など次世代の担い手確保が厳しくなる中で、今後の建設業界の技術力向上と公共工事の品質確保を図ることを目的としています。

表彰式終了後、受賞された7名のみなさんに、今回受賞した工事で印象に残ったことや、仕事のやりがいについてお聞きしました。



京町污水幹線人孔耐震補強工事を施工された  
**株式会社 クスコ 久富 廣一郎さん**

「狭いマンホールの中での換気をしながらの施工で、厳しい条件の工事でした。調査により問題点も見つかり、発注者と協議を進めながら施工にあたりました。」

「地震時にも機能し、確実に汚水が流れることなど、社会資本整備の重要性や必要性を伝えていければと考えています。」

公共下水道管渠布設第1工区工事を施工された

**株式会社 佐田土木 木原 昭法さん**

「住宅が点在する場所でしたので、安全面に配慮しながら工法を検討しました。いろいろな人と協議しアイデアを出しながら、スピーディな施工に努めました。完成時には地元の方々から感謝の言葉をいただきました。」

「ものづくりの楽しさを地元還元していければと思っています。社会の歯車のひとつとして充実感が得られる仕事だと思っています。自分が手がけた仕事を子供達に伝えていきたいです。」



公共下水道管渠布設第 13 工区工事を施工された

**九州環境建設 株式会社 山中 勇樹さん**

「周囲が農地で、農繁期における通行止めなど工程管理に苦劳しましたが、地元の方々に協力していただきながら施工にあたりました。」

「下水道は完成してもマンホールと舗装しか見えませんが、橋梁の下部工や築堤工事などを含め未来に向けた仕事として次世代の子供たちに伝えていきたいと思えます。」



舗装補修（A2 号線）工事を施工された

**株式会社 中山建設 中山 良太さん**



「第三者の車両の進入がないよう日々の規制に気を使いました。最終的な仕上がりの状況が目に見えることもあって、やって良かったというやりがいに大きくつながってくる仕事だと考えています。」

「暑い中の工事など辛い仕事ですが、重機を運転しての作業など、小さいころからのあこがれでもあったので子供達にも興味をもってもらえたらと考えています。」

竹野小学校屋内運動場空調機設置機械設備工事を施工された

**イクノ冷熱工業 株式会社 野上 貴史さん**

「学校内の工事で、先生や児童の安全面に特に注意を払いました。安全管理の面からも作業現場の丁寧な清掃に努めました。災害時に体育館が避難所になり、この工事にたずさわられてよかったと思いました。」

「これからの若い人材育成のためにも、自分自身もさらなる技術の向上に努めたいです。」



南薫小学校給食室改修外電気設備工事を施工された  
**有限会社 ハセガワ電工 多伊良 健司さん**



「夏休み期間中の工事でしたが、学校に出てくる児童さんがいて、安全対策上作業範囲の徹底と騒音対策に努めました。また、暑い時期の工事であったので休憩時間の確保など熱中症対策に注意を払いました。」

「利用される方々による感謝の声が励みにもなりますので、自分自身もさらなる技術の向上に努めたいと思っています。」

長門石団地 No.6 棟外壁改修工事を施工された  
**ムライケミカルパック 株式会社 中野 裕也さん**

「地域住民の方々との調整など、協力をいただきながらの施工でした。完成後に、住民の方からの感謝の言葉が励みになりました。」

「住民の方や子供達の関心も高く、工事完成後のきれいに仕上がった現場の様子は、やりがいにつながっています。」



地域のみなさんや利用される方々と協力し、完成のときの喜びを分かち合いながら建設物を作り上げていく姿が垣間見られました。また、子供たちの世代への自分たちの仕事を伝えたいという熱い思いが感じられるインタビューでした。